



資料につき、『日本教科書大系近代編』の「解題」から若干のところを抄出する。

㉑ 尋常小学算術書 (第十三卷、三七六～四六二頁)

第一・二学年(教師用)・第三・六学年(児童用)

大正十年(一九二一)四月、度量衡法は尺貫法からメートル法に改められ、同十三年七月から実施せられた。算数教科書は、これにより、修正され(第三期、改訂版)、第一・二学年は大正十四年度から、第三学年は翌年度から、第四・五学年は昭和二年度から、第六学年は翌三年度から、また、高等小学校第一学年は昭和三年から、同二学年は翌四年から使用された。

掛算九九に「総九九」が採用され、時間に関する事項や歩合算が増加し、度量衡の改定に伴う諸等数の複雑な計算が軽減されるなど、内容上、大きな変化が見られる。

なお、『日本教科書大系』には、第一・二学年(教師用)と第三学年(児童用)につき、「改訂の大きいページのみを収録した。」とある。

㉒ 尋常小学算術 (第十三卷、四六三～七一五頁)

第一学年―第六学年(児童用)

新しい教育思想、世界的な数学教育改造の思潮に基づく数学教科書史上画期的なものとされる。満州事変後の時勢の変化を反映し、国家主義的、軍国主義的色彩が濃くなっているが、低学年の教科書には美しい色刷りの挿絵が多用され、日常生活によく現れ、かつ、児童の心理と技能に適應する教材が選ばれている。

昭和十年(一九三五)度入学生から使用され始め、同十五年度、第六

学年の使用に至って全学年に及んだ。

㉓ カズノホン 一〜四 (第十四卷、六〇五七頁)

初等科算数 一〜八 (同、五八〇二一六頁)

昭和十六年(一九四二)四月から小学校が国民学校となり、「算術」は「理科」の一科目としての「算数」となり、教科書も新しく編集された。第一・二学年用の「カズノホン」(四冊・各学年二冊)は、昭和十六年度から、第三・四学年用の「初等科算数」(一・二・四の四冊・各学年二冊)は、同十七年度から、第五・六学年用の「初等科算数」(五・八の四冊・各学年二冊)は、同十八年度から、それぞれ使用された。

国民学校の教育目標は、「皇国の道」に基づく「国民の基礎的練成」である。太平洋戦争の開戦(昭和十六年十二月八日)という時期でもあり、教科書には、国家主義的、軍国主義的色彩が色濃く認められ、戦時教材も多く用いられている。

㉔ さんすう 一・二 (第十四卷、二二七～二七六頁)

算数 三 (同、二七七～三〇九頁)

算数 第四学年用―第六学年用(同、三二〇～四三九頁)

国民学校は、昭和二十二年(一九四七)四月、「六・三制」により六年制の「小学校」に復帰した。「理科」は解体されて、再び、独立した「算数」科が置かれ、第一・二学年用に「さんすう」(各二冊)、第三学年用に「算数三」(一冊)、第四学年から第六学年用に「算数第四」(六)学年用(各学年、上下二冊)が編集された。印刷事情や用紙が悪く、発行供給も遅れがちであったという。

学習指導要領の一般編(試案)は昭和二十二年三月に、「学習指導要領(算数科/数学科)編」(試案)は同年五月に発行されたが、教科書

の編集はそれに先立って着手されていたので、これらは学習指導要領にそのまま準拠して編集されたものではない。しかし、両者は、共に新学制下の同じ教育方針に基づき、占領国軍総司令部の民間情報教育局（C・I・E）の指導と監督の下に編集されたものである。

第五期までの国定教科書では、指導内容を国家的基準として定め、教師は、これを必ず児童に理解させ、修得させねばならなかった。即ち、教科書は絶対的な権威を持つものであり、教科書の教師用書も、それ故に必要とされていた。しかし、新学制下では、教科書は学習上の参考資料の一であると考えられ、その教材の絶対的権威は消失した。教科書の教師用書も必要でなくなったが、しかし、こうした教科書観は、先行する一つの理念であり、実情としては、教師の教科書に依存する傾向は、なお強かったと見られる。

昭和二十四年度から検定制度が実施されたため、これらの教科書は表紙に「文部省著作教科書」と記し、検定教科書と並んで使用されたが、この年度は、まだ算数の検定教科書は現れず、実際には国定教科書と同様に全国の学校に使用された。同二十六年年度になって、「小学生のさんすう」を除き、すべて検定教科書となり、「さんすう」・「算数」は姿を消した。

③⑥ 小学生のさんすう 第四学年用 1・2・3

（文部省著作教科書）（第十四巻、四四三〜五二二頁）

昭和二十四年度から実施するため、同二十三年に算数科の学習指導要領の「指導内容の一覧表」が改訂され、これに基づいて第四学年用として新しく本書（三冊）が編集された。従前の国定教科書と異なり、「文部省著作教科書」として、検定教科書と並んで使用されるものとして編

集されたが、同二十四年度は、まだ算数の検定教科書は現れなかったで、全国の小学校に用いられ、同二十六年年度に至っても、検定教科書と並び、一部の学校に用いられた。

本書の編集方針には、算数科指導の目標として「数の基礎的概念の理解」と「子供の生活指導」の二つが挙げられ、これらは「社会的有用性」の立場で一体化されるべきものであると述べられている。

以下に助数詞の用例を収集するが、年月日や年齢、また、単位等に関するものは省略する。

（用例の収集）

（五）④国定教科書時代・第三期改訂版（大正後期・昭和初期）

③① 尋常小学算術書 （第十三巻、三七六〜四六二頁）

第一一二学年（教師用）・第三一六学年（児童用）

第一学年、教師用の冒頭には、先の第二期・第三期の場合に同様、実物教育の奨励と共に、助数詞使用方法の例示が行われている。また、これらの教師用には、その柱の部分に、既出の「枚」「本」「匹」、その他の助数詞、また、「遍」「銭」「m」、その他の単位が印刷されており、適宜、これらを用いて授業を行うように配慮されている。

〔人〕○ 運動場ニ男ノ子ガ9人ト女ノ子ガ2人遊ンデ居マス、……人物は、身近の「実物」の一であり、用例も多い。割愛する。

〔表〕○ 1俵 54500gノ米ガ3俵ト1俵 53300gノ米ガ4俵アル……

米、白米、玄米、炭、塩、の俵を数える。

[倍] ○ 或数ヲ8倍シタラ200ニナツタ・元ノ数ハ幾ツカ・

[冊] ○ 1冊7銭ノ帳面ハ14銭デ何冊買ヘマスカ・

帳面、本、書物、洋書、和書、を数える。

[列] ○ 机ガ1列ニ六ツツツ8列ニ並ンデ居マス、……

机、生徒、碁石、(黒板の) 円、などの連なりを数える。

[包] ○ サタウ550グラムヲ300グラムツツノ包ニ分ケルト、幾包デ

キテ幾ラアマルカ・

[匹] ○ 或人ガ持ツテ居タ牛75匹ノ中、38匹売ツテ其ノ後ニ43匹買ツ

タ・今幾匹持ツテ居ルカ・

牛、馬、魚、蜂、蜻蛉、蚕、を数える。

[回] ○ 米ヲ車デ運ブノニ1回ニ18俵ツツ積ムト20回カカル……

(米を車で運ぶ回数)、(車の回転)、(納税の回数)、を数える。

[字] ○ 電報料ハ15字マデハ30銭デ、……37字ノ電報ヲ出スニハ……

[帖] ○ シヤウジ1枚ヲハルニ美濃紙ガ12枚イル・シヤウジ24枚ハル

ニ美濃紙幾帖イルカ・美濃紙1帖ハ48枚デアル・

紙、半紙、美濃紙(一帖ハ四十八枚)、を数える。

[度] ○ 家ヲ2000円デ買ツテ、ソノ金ヲ4度ニハラフコトニシタ……

この他、(車の回転数)、(太郎の往復回数)、を数える。

[把] ○ 菜ガアチラニ9把、コチラニ3把アリマス、皆デ何把デスカ・

[本] ○ 太郎ハ豆細工ノ棒ヲ7本ホシイト言ヒマシタ、二郎ハ……

この他、筆、鉛筆、(机の) 脚、柳、杉苗、桑苗、松ノ木、電柱、葡

萄酒、(注水用の) 大管・小管、(黒板に書いた) 線、を数える。

[枚] ○ 皿ガ初ニ10枚アリマシタガ段段割レテ今デハ6枚ニナリマシ

タ、何枚割レマシタカ・

皿、板、硝子障子、硝子板、障子、額、座蒲団、着物、畳表、画用紙、

紙、美濃紙、半紙、紙袋、ハガキ、公債証書、10株券、1銭銅貨、5銭

白銅貨、50銭銀貨、20円札、10円札、5円札、蜻蛉の翅、を数える。

[株] ○ ……此ノ会社ノ株式10株ヲ持ツテ居ル人ハ……

[段] ○ 御宮ノ石段ヲ数ヘタラ下ノ方ガ5段デ上ノ方ガ25段……

[燈] ○ ……電力カ計貸付料トシテ5燈デハ20銭デアル……

[瓶] ○ ……ビン入ノ葡萄酒本ヲ輸入シタ・1ビンノ入ガ……

アルト幾ラノ関税ヲ納メネバナラヌカ……

[疊] ○ 疊ノ表替ヲスルニ疊表1枚ガ1円20銭デ手間代ガ1疊45銭カ

カルト8疊、6疊、疊ノ表替ヲスルニハ皆デ幾ラカカルカ・

[筋] ○ 16cmノ長サノ糸ヲ二筋ノ同ジ長サノモノニ分ケルト……

糸、針金、手拭い、を数える。

[箇] ○ 卵96箇ツツ入レタ箱ガ六ツアル……

卵、柿、を数える。「箇」と付訓がある。この他、「一箇(月・年)」

とも見える。

[箱] ○ ……蜜柑80箱ヲ56円デ買ツテ其ノ中甲ハ3箱、乙ハ35箱……

卵、蜜柑、の箱を数える。

[組] ○ 飛行機ガ3臺ツツ五組飛ンデ行キマシタ、……

○ 30人ツツノ生徒ノ組ガ三組アリマス、……

[臺] ○ 荷車5臺デ30回ニ運ベル荷物ヲ7臺デ運ブト……

飛行機も「臺」で数える。

[艘] ○ 川ヲ渡スニ舟8艘デ1艘ニ10人ツツ乗セテ3回デ……

[行] ○ 字ヲ1行ニ14ツツ書ケバ何行ニナルカ・

〔袋〕〇 一ツノ盆ニ栗ガ五袋アリマス、モウ一ツノ盆ニ六袋……  
茶、栗、の袋を数える。

〔足〕〇 一足デ60cmツツススムト、45cmノ長サノハシハ幾足デワタルルカ。

尺貫法は、メートル法に変わっている。

〔軒〕〇 川ノ向フニ家ガ3軒アリマス、今度新規ニ9軒出来ルサウデス、皆出来タラ何軒ニナリマスカ。

〇 柿ヲ九ツツ5軒ノ親類ヘ遺ルニハ……

〔部〕〇 上下2冊ノ或書物5部ノ代ガ5円50銭デ……

〔鐘〕〇 ガソリン1クワンデ自動車ヲ15km走ラセルコトガ出来ルト、0.1クワンノガソリンデハ何程走ラセルコトガ出来ルカ。

〔頁〕〇 48ページノ帳面ニ日記ヲ書イタラ23日デ書キ終ツタ。

〇 100ダケノ字ヲ1頁ニ6行、1行ニ13字ツツ書クト何頁ニナルカ。

〔ツ〕〇 リンゴ五ツガ75銭デアルト、コノリンゴ九ツノ代ハ幾ラカ。

5 銭白銅貨、紐(の切ったもの)、碁石、鉛ノ球、毬、帽子、国旗、提灯、盆、帽子掛け、(魚の)籠、(蜜柑の)箱、(卵の)箱、机、タライ、車、(絵の)軍艦、林檎、蜜柑、柿、栗、蕾、柳、雞卵、蚕ノ繭、(蜂の)脚、(黒板の)円、円ノ数、(正方形の)辺、(三角形の)角、矩形、直方体、数、偶数、奇数、ボートノ組、(人の)組、その他、様々なものを数える。

(六) 国定教科書時代・第四期(昭和・戦前)

② 算術 第一学年—第六学年(児童用) (第十三巻、四六三—七一五頁)

教科書は、低学年ほど片仮名書きであるが、徐々に漢字書きとなる。以下に、助数詞の使用対象を掲げる場合は、漢字書きに統一し、「オ茶ワン」のような接頭語「オ」は省く。

〔人〕〇 ノリアヒジドウシヤニ、オキヤクガ三人ノツテキマシタ。

生徒、兵隊さん、その他、対象は多い。割愛する。

〔俵〕〇 コメダハラヲツンダクルマガトホリマス。前ノ

クルマニモ七ヘウ、アトノクルマニモ七ヘウツンデアリマス。ミンナデナンベウデスカ。

米、一等米・二等米・三等米、米俵、小麦、炭、炭俵、を数える。

〔倍〕〇 5ノ六バイハ、イクツデスカ。

〔冊〕〇 学校デ、チャウメンヲ二百十六サツマトメテ買ヒマシタ。帳面、本、を数える。

〔函〕〇 徳用大型ノ一箱ノ100函入 徳用小形ノ一箱ノ200箱入

右は、「マツチ」ノ配給業者ノ販売価格ヲ示シタモノデアル。」とする表の中に見えるもので、「一箱」の中に「100函」、または「200函」納めるといふ。但し、表中には、「徳用大型ノ1函」「徳用小形ノ1函」とも見える。「函」は、この条以外に見えていない。

〔切〕〇 ……オカアサンガ、「ニキレツツオアガリナサイ。」

ト イツテ、スキクワヲモツテ来テ下サイマシタ。スキクワハ、ミンナデイクキレアルデセウ。

梨、スイカ、の切ったものを数える。

〔列〕○ 四十人ノ セイト ガ、ニレツ ニ ナラビマシタ。……生徒、水兵さん、腰掛け、席、杉苗、碁石、菓子、の列を数える。

〔包〕○ 並型ノ一箱 240包入

〔「マツチ」ノ配給業者ノ販売価格ヲ示シタモノデアル。〕とする表の中に見える。〔並型一包ノ一等品ノ二等品〕とも見える。

〔匹〕↓〔頭〕

○ 犬・サル・キジノ三匹ガセマイ一本道ヲナランデ歩イテ……  
○ ……オカアサン ガ、九セン ノ イカ ヲ 六ピキ ト、

六セン ノ アヂ ヲ 三ピキ ト オ買ヒニ ナリマシタ。

馬、タコ(蛸)、イカ(烏賊)、エビ、バツタ、トンボ、蟻、蟬、ケゴ(蚕の幼虫)、鼠、鶴、亀、鮎、鱈、鯉、真鯉、を数える。

〔周〕○ 周回回数 29周

右は、昭和十三年五月、東京帝国大学航空研究所の飛行機が新記録を作った時の「周回回数」をいう。

〔回〕○ ……ヨセザン ノ レンシフ ヲ シマシタ。五クワイレ  
ンシフ シテ、マチガッタ カズ ヲ シラベマシタ。……

寄せ算の練習回数、数を寄せる回数、成績調べの回数、将棋の金将を振った回数、京都市内電車に乗った回数、電車の発車する回数、車輪や歯車の回る回数、針金を棒に巻く回数、渡し舟で渡す回数、を数える。多く字音語用法であるが、一例だけ、「まわり」と書いた例がある。

○ 赤道ノ周回ヲ綱デ一マハリ巻イタトスル。コノ綱ノ……

〔回転〕○ 矩形ノ一辺ヲ軸トシテ、矩形ヲ一回転サセルト、……

右は、回転体の勉強である。機械(歯車)の条では回転数を学ぶ。

〔字〕○ ヒラガナ ヲ 四十八字 書カウト 思ヒマス。六ギャウ

ニ 書ク ニハ、一ギャウ ニ 何字ヅツ 書ケバ ヨイデセウ。

書き方の稽古の字数、罫紙の字数、をいう。

〔尋〕○ オトウサンガ、長イナワカラ、六ヒロダケオ切りニナリマシタ。一ヒロヲ一米五十糶トスルト、切取ツタナハハ、ドレダケアルデセウ。

両手を広げて縄を測る父と、それを見つめる少年との挿絵がある。

〔帖〕○ ……キノフ、ミノ紙ガ四デフ売レマシタ。ミノ紙ハ、一デフ五十枚デス。ミンナデ何枚デセウ。

美濃紙、半紙、を「デフ」と数える。但し、これまでには、美濃紙は「一帖〓四十八枚」とあった。

〔度〕○ 一箇月ニ二度ヅツトコヤニ行クト、一年中ニハ、イクラカカルデセウ。二箇月ニ三度ヅツ行クトニスルト、……

計算の成績調べにも「度」と見えるが、「回」との差異がはっきりしない。なお、「度」は、いろいろな単位にも用いられる。

〔戸〕○ ……コノ村ノ戸数ハ二百七十四戸デス。……

〔房〕○ ブドウ ガ、一フサ ニ 二十ツブ アリマス。……

〔所〕○ 米ダハラ ガ……ツンデ、七トコロ ニ アリマス。……

〔抱〕○ オ宮ノ杉ノ木ノ周リヲ、両手ヲノバシテ測ツタラ、三方カヘ半アツタ。手先ノ間ヲ「Foot」トスルト、木ノ周リハドレダケカ。

〔挺〕○ ……テツパウ ハ、ミンナ デ 何チャウ アリマス カ。

挿絵には、三十六挺の銃が見えている。

〔掴〕○ ……タクサン ノ マメノ 中 カラ、一ツカミ ツカミマシタ。カゾヘテ ミルト、十六 アリマシタ。……

〔本〕○ ヤウカン四本ヲ、五人ニ等分スルト、一人ガドレダケニナル  
デセウ。

羊羹、箸、ユリの花、バラの花、菊の花、を「本」で数え、また、キノコ、土筆、スマイレ、レンゲソウ、菊、キュウリ、ポプラ、柳の木、柿、桃、梅、桜、桜の木、椿、松、杉、杉の木、杉の丸太、杉の苗木、桑の苗、(桑の)苗木、木、竹、(洗濯の)竿、旗、丸い木、棒、材木、(畑の)杭、(橋の手すりの)柱、電柱、カラカサ、蝟燭、(醬油の)ビン、牛乳ビン、筆、鉛筆、色鉛筆、(豆細工の)ヒゴ、(扇の)骨、旗、(旗の)紐、(縄跳びの)紐、釘、針金、指、(タコの)足、(碁盤の)線、を「本」で数える。

〔束〕○ マキガ、三百六束アリマス。コレヲ三日間ニ……

○ ……イネ ノ ナヘ ヲ、ナハシロ カラ タンポ ヘ……  
ナヘ ガ 三十六タバ ツツ ハイッテ キマス。……

稲の苗、封筒、竹、紙、を「束」で数える。

〔杯〕○ ドビン 一パイ ノ オ茶デ、オ茶ワン ニ 九ハイ ヅグ  
コト ガ出来マス。セイト 六十三人 ガ、……

お茶、水、サイダー、を注ぐ。この器には、(米の)斛、ヒシヤク、小さい器、土瓶、茶わん、などが見えている。

〔枚〕○ 一マイ ノ ハンシ デ、ハタ ヲ 二ツ コシラヘヨウ  
ト オモヒマス。ドウ キッタラ ヨイ デセウ。

半紙、紙、銀紙、色紙、(紙風船の)紙、画用紙、絵、切手、はがき、絵はがき、往復はがき、年賀状、封筒、カルタ、カード、野紙、電車の切符、新聞紙、タオル、洗濯物、旗、凧、皿、硝子、硝子戸、硝子板、瓦、板、座布団、銀杏の葉、(将棋の)金将、お煎餅、を数える。

〔歩〕○ ラウカ ヲ 十ポ ダケ 歩イテ、ソノ 長サ ガ ドレ  
ダケ アル カ、ハカッテ ゴラン ナサイ。

○ 次ニ、橋ノ上ヲ歩イテミマシタ。十六歩アリマシタ。……  
〔段〕○ 四段ノ桑畠ニ桑苗ヲ植エタ。……

本棚、棚、(植木鉢の)棚、お宮の石段、階段、蜜柑(の植え方)、(絵はがきの貼り方)、を数える。

〔燈〕○ 定額燈ノ場合モ、従量燈ノ場合モ、一燈ニツキ五銭ノ布線貸  
付料ヲトル。……或家ニ電燈ガ七燈アツテ、或月二十六「キロ  
ワット時」ツカッタ。……

電燈数を「燈」で数えるものであろう。

〔瓶〕○ 牛乳一ビンノ五分ノ三ダケハイルコップ三ツニ、……

〔壘〕○ ハデフ ノ ヘヤ ガ 三ツ、六デフ ノ ヘヤ ガ 三ツ  
アリマス。タタミ ハ、ミンナ デ 何デフ アル デセウ。

〔皿〕○ オクワシ ガ 五十六 アリマス。セツ ノ オサラ ニ  
……一サラ ニ イクツ ツツ 入レレバ ヨイ デセウ。

〔種〕○ 三種ノ麦ニツイテ、年々ノ増減数ヲ読ミトリ、比較セヨ。

〔箇〕○ 林檎一箇八銭 桃一箇五銭

〔箱〕○ 「本箱」「机」「腰掛」の数も「箇数」という(六七〇頁)。また、「百  
六十七箇所」「二箇月」「一箇年」との用法がある。

〔粒〕○ ……六百グラムノ砂糖ヲ入レタノガ二十五箱アリマス。……  
この他、羊羹、寿司、キャラメル、菓子、蜜柑、梨、マッチ、石鹼、  
蚊取線香、ハンカチ、の箱入りを数える。

〔粒〕○ 栗1gニハ約〇〇〇アル。栗一粒ノ重サハドレダケカ。  
この他、葡萄の粒を数える。

〔組〕○ ヒカウキ ガ、三ダイ ツツ 一クミ ニ ナツテ、五クミ トンデ 来マシタ。ミンナ デ ナンダイ 来タ デセウ。

この他、生徒、兵隊さん、野球(選手)、(帳面)、皿、茶碗、コップ、歯車、襖、タオル、座布団、(台形の)辺、の組になったもの、(当番の)組、を数える。

〔羽〕○ ……ニハトリノ数ハ、去年ノ五月ノシラベデハ三百八十七羽 デシタガ、今年ノ五月ノシラベデハ、五百十三羽デシタ。… 鶏、牝鶏、ヒヨコ、アヒル、鳥、雀、を数える。

〔膳〕○ ハシ ガ 五ゼン アリマス。ミンナ デナン本 デセウ。 ○ ……ゴハン ヲ 三ゼン ツツ タベマス。… 箸(二本)、ご飯、を数える。

〔臺〕○ 車一ダイ ニ、米ダハラ ガ 五ヘウ ツメマス。… 米や杉の丸太を運ぶ車、自転車、自動車、荷馬車、トラック、を数える。飛行機も「臺」である(参照、「組」の条)。

〔艘〕○ ボートガ三ザウト、ホカケ舟ガ五サウ走ツテ来マス。… この他、渡し舟、舟、(兵員輸送の)船、を数える。

〔荷〕○ ……人足二十人が荷物十六荷ヲ十二日間ニ運ンダ。 傍訓に「カ」とある。

〔行〕○ ……チャウメン ニ ジ ヲ カキマシタ。一ギャウ ニ 七ジ ツツ カイテ、八ギャウ ト アト ニ 五ジ カキ。 帳面、野紙、本、の行数をいう。参照、「字」の条。

〔袋〕○ オクワシヲ二百グラムツツ入レタノヲ、三フクロ買ヒマシタ。 菓子、茶、絵はがき、の袋入りを数える。

〔足〕○ ……タビ ハ、二ソク ガ 一クミ デ、ネダン ハ 七十

銭 ダツタ サウ デス。クツ下 ハ、三ゾク ガ 一クミ デ、ネダン ハ 七十五銭 ダツタ サウ デス。…

○ ……六十五銭ノ足ダヲ一ソク買ヒマシタ。… 足袋、靴下、足だ、を数える。

〔軒〕○ ……キンジョ ニハ、イヘ ガ 十六ケン アリマス。… 家、(親類・村・親類の)家、を数える。

〔輛〕○ ……コノ木炭ヲ十五吨積ノ貨車デ運ブトスルト、平均一日ニ 何輛ノ貨車ガ東京ニ入ラナクテハナラナイカ。 この他、「機関車 一リヤウノ客車 七リヤウノ貨車(箱型) 三リ ヤウ」と見える(六一九頁)。

〔通〕○ ……クレヨンハ、赤・青・黄・緑ノ四通リガアル。… 〔遍〕○ ……ブランコ ヲ シテ キマス。二十ペン ツツ デ、カ ハル コト ニ シテ キマス。イマ、十七ヘン目 デス。…

ブランコ・まりつき・相撲(の取り組み)の回数、キャラメルを食べる回数、キュウリや米俵を運ぶ回数、をいう。

〔鉢〕○ カキ十二ト、ナシ十五トヲ幾鉢カニ同ジヤウニモリ合ハセマ シタ。幾鉢ニモツタカアテテゴランナサイ。

〔頁〕○ オ話ノ本ヲ、三日カカツテ読ミマシタ。ハジメノ日ニハ二十 六頁、次ノ日ニハ二十九頁、オシマヒノ日ニハ… 本、お伽話、お話の本、読本、の「ページ」「頁」数をいう。

〔頭〕↓〔匹〕 ○ 乙村ニ飼ツテアル兔ノ数ハ、甲村ノ兔ノ数ノ九分ノ七デ、甲 村ノヨリモ二百四十頭少イ。兔ノ数ハソレゾレ何頭デアルカ。 兔、鯨、馬、牛、豚、を数える。

〔ツ〕○ ゲンクワンノ左ニ、ケウシツガ七ツ、右ニ五ツアリマス。ドチラニ、イクツオホクアリマスカ。  
 さまざまな嗜好品、果物、植物、生活具、学校の備品、おもちゃ、金銭、また、対角線、辺、角、直線、四角、六角、三角、(円柱の)底面、直方体、円錐、(紙の折り方)、図形、数字、字、などを数える。

(七) 国定教科書時代・第五期(昭和・戦中)

③③ カズノホン 一〜四 (第十四巻、六〜五七頁)

③④ 初等科算数 一〜八 (第十四巻、五八〜二一六頁)

二者に共通して見える助数詞は多いが、一方、前者にのみ見える助数詞として「株、疊」があり、後者にのみ見えるそれとして「切、列、包、巻、尋、帖、戸、抱、瓶、皿、目、筋、筒、箱、粒、荷、袋、足、輛、通、鉢、隻、クラ」がある。この違いは、教材(用例文)の難易や言語量の多少によるのであろうか。総じて、それぞれの延べ語数は多くない。以下には、これらを区別しないで掲出する。

〔人〕○ 八人デ カクレンボヲ シテキマス。……

生徒、子供、少年団員などを対象として多くの用例がある。

〔俵〕○ 炭ダハラヲ 九ヘウツツ ツンダ 車ガ、五ダイ ……

米、米俵、炭、炭俵、を数える。

〔倍〕○ 3ノ 二バイカラ 九バイマデヲ、ジュンニ ケイサンシテ  
 グランナサイ。ソレヲ、九九デ ジュンニ イツテ……

〔冊〕○ 本ヲ二冊、机ノ上ニ立テテ、……

本、雑誌、帳面、を数えている。

〔切〕○ 一本ノヤウカンヲ六等分シタ。ソノ二切レハ、一本ノドレダケカ。

〔列〕○ ケウシツニハ、二人ガケノ机ガ 四列ニ並ベテアリマス。  
 ラウ下ノ方ノ 二列 ハ男ノ席デス。……

机、腰掛け、生徒、カード、茄子の苗、卵、菓子、を対象とする。

〔包〕○ マッチ箱ハ 十ツツ 一ツツミニ シテアリマス。……

〔匹〕↓〔頭〕

○ ……親兎ガ二匹 ト 子兎ガ二匹 飼ツテアリマス。……

馬、兎、犬、猿、雉子、鼠、カタツムリ、蛾、こがね虫、大きな虫、

蛭、ケゴ、蛙、金魚、ハエ(鮭)、ドジョウ、鮎、メダカ、オタマジャクシ、鱈、鯖、鰻、を数える。

〔巻〕○ 直径ガ 3.5cmアルマルイ棒ニ、針金ガ十巻キ 巻イテアル。  
 巻いた回数を数えるものである。

〔回〕○ ……息ヲスルゴトニ胸ガアガリサガリスルノデ、カゾヘテミ  
 マシタ。五分カンニ 八十回<sup>ツク</sup> 胸ガアガリマシタ。……

練習・寄せ算・仕事の回数、丸太・炭俵・腰掛け・小石を運ぶ回数、

時計の針・歯車・車輪・振子の往復・呼吸の回数、を数える。

〔字〕○ ……日記ノ字数ヲ調べタラ 百二十五字 アツタ。……

〔尋〕○ ……長イナハカラ、六ヒロ ダケオ切りニナリマシタ。……

〔帖〕○ 半紙一デフハ 二十枚 デス。半紙ガ 二デフ……

○ ……キノフ、ミノ紙ガ 四デフ 売レマシタ。ミノ紙ハ、一  
 デフ 五十枚 デス。ミンナデ 何枚 デセウ。

別に、市場で買った中に「ノリ (一デフ)」「(24葉)」と見える

〔度〕○ ……一日ニ 四度ツツ 体温ヲハカツテ、……

この他、紙を振る回数、床屋に行く回数、成績調べの回数、をいう。

〔座〕○ カボチャノタネガ 二十四 アリマス。一クラ ニ 六ツツ  
ツ マクト、イククラ ニマケマスカ。

苗床を「くら」という。今、「座」字を宛てた。右は、これに出る助数詞で、「うね」にも同用法がある。

〔戸〕○ 戸数 七百五十戸 ノ 村デ、……

〔抱〕○ オ宮ノ杉ノ木ノ周リ ヲ両手ヲノバシテ計ツタラ 三カカヘ  
半 アツタ。

〔本〕○ ヤウカン二本 ヲ 五人 ニ 等分スルト、……

羊羹、鉛筆、筆、ヒゴ、キビガラ、紐、繩、綱、(数珠玉の)糸、旗、線香、花火、栗の木、竹、銀杏の木、桜、桜の木、松、杉、柳、(柿の)木、梅、桃、(紅葉や松などの)芽生え、茄子の苗、土筆、ワラビ、筍、キウリ、ネギ、醤油瓶、杉の丸太、棒、杭、煙突、電柱、赤い筋(線)、(碁盤の)線、直線、線、を数える。

〔束〕○ ……キノフハ 三十五タバ、今日ハ 四十七タバ デキマシ  
タ。タキギハ イクタバ デキタ デセウ。

○ エンピツガ 七十本 アリマス。十タバ ニ分ケルト、一タ  
バ 何本ツツ ニ ナリマスカ。

○ マキガ 千二百束<sup>ツツ</sup>アリマス。……

たきぎ、薪、鉛筆、封筒、袋、紙、キビガラ、ネギ、の束を数える。  
和語「たば」、字音語「ソク」の両用の用法がある。

〔杯〕○ ……花子サンノ スキトウニハ、フタデ 二十六パイノ 水  
ガ ハイリマス。

コップ、水筒のフタ、バケツ、柄杓、樽、湯飲み、小さなビン、(こ

飯茶碗)、などを容器として、水、ご飯、を数える。

〔枚〕○ 旗ヲ四十枚 作りマシタ。ソレヲ、五枚ツツ ……

はがき、絵はがき、往復はがき、切手、二銭切手、五十銭札、十円札、色紙、カルタ、カード、千代紙、色板、台紙、画用紙、紙、罫紙、半紙、封筒、新聞紙、襖、襖紙、旗、絵、ガラス、葉、紅葉の葉、押し葉、銀杏の葉、センベイ、等を数える。

〔株〕○ ……ソノ ホニ ツイテ キル モミノ カズヲ カゾヘテ  
ミマシタ。ソレカラ、一カブノ イネノ モミノ カズヲ シ  
ラベヨウト 思ッテ カゾヘハジメマシタ。……

〔歩〕○ 十ポダケ 歩イテ、ソノ 長サヲ シラベテ ゴランナサイ。

○ 私ノ家カラ本屋マデハ 三百五十歩、……

〔段〕○ オ宮ニハ高イ石段ガアル。下カラ上マデ<sup>ニ</sup>段デ、……

石段、本棚、運針の練習(縫い目)、の段数を数える。

〔瓶〕○ 一ビン 十二銭 ノボクジフヲ五ツト、一本 八銭ノフデヲ  
五本 買ヒマシタ。ミンナデ イクラ ニナルデセウ。

墨汁(の瓶)、醤油、牛乳ビン、を数える。

〔疊〕○ 八デフノ ヘヤガ 三ツ、六デフノ ヘヤガ 四ツ……

〔皿〕○ イチゴガ三十六 トレマシタ。一サラ ニ 六ツツツ モル  
ト、イクサラ ニ モレルデセウ。

〔目〕○ 花子サンハ、運針<sup>シ</sup>ノ練習ヲシマシタ。六十五目ツツ 十三段  
ヌヒマシタ。ヌヒ目ハ全体デイクツ デセウ。

〔筋〕○ コノナハカラ、一スデ 二メートルノナハガ、何本 取レル  
デセウ。一スデ 三メートルノハ 何本 取レマスカ。

〔箇〕○ 一箇<sup>ツツ</sup>五十銭ノクワンツメヲ 三箇買ツテ、……

罐詰、卵、りんご、小石、バケツ、重り、を数える。また、「二箇月」

〔百二十箇所〕として見える例がある。

〔箱〕○菓子箱ガ 二箱 アリマス。……

この他、蜜柑、柿、の箱を数える。

〔粒〕○粟アワニハ 約四百粒 アル。粟百粒ノ重サハ約何瓦カ。……

〔組〕○キフスト茶ワンノ一組ガ 一円六十五銭、オボンガ……

○五人ツツノ クミニ ワカレテ、九クミデ サウヂヲ……

前者のような例はまれである。生徒、子供等の組をいうことが多い。

〔羽〕○……ガテウガ十四ハ オヨイデ 来マシタ。……

鶏、鳥、小鳥、鶯鳥、を数える。

〔臺〕○……ヒカウキガ 六ダイ 並ンデ トンデ来マシタ。……

○……大砲ヲ 三ダイ 作ルニハ、ワ切りニ シタ キビガラ

ヲ イクツ 作レバ ヨイ デセウ。

飛行機、大砲、トラック、(炭俵・丸太を運ぶ)車、を数える。

〔艘〕○一サウノ 軍カンニ 大砲ガ 七ツツツ アリマス 七サウ

分ヲ 合ハセルト、大砲ハ イクツニ ナル デセウ。

軍艦、舟、を数える。

〔荷〕○昔、京カラ江エド戸マデ 百二十里 ノ 道ヲ、人足ヒシツク 二十人ガ

荷物 十六荷カ ヲ 十二日間ニ運ンダ。……

〔行〕○……カン字ガ 一ギヤウニ 七字ツツ、八ギヤウ 並ンデ

キマス。何字 アル デセウ。

郵便紙の行数も「行」で数える。

〔袋〕○……エハガキヲ 五フクロ ト エンピツヲ 二ダース 送

ッテ来マシタ。エハガキハ、一フクロニ 七枚ツツ ……

絵はがき、昆布、茶、粉、砂糖、米、蜜柑、の袋入りを数える。

〔足〕○靴下ノハイキフ日ニ、「コノ組ハ 三十五足 デスカラ、十

六円八十銭 デスヨ。」ト、カカリノ先生ガ、……

〔軒〕○私ノブラクニハ、キヨ年マデハ家ガ百十八ケンアリマシタガ、

今年ニナツテ五ケンフエマシタ。今ハ何ケンアルデセウ。

家、(部落、近所)家、農家、を数える。

〔輛〕○機関車 1リヤウノ客車 7リヤウノ貨車(箱型)ガ 3リヤ

ウ

「列車」の「数」を数える(二三〇頁)。

〔通〕○……クレヨンハ赤・青・黄・緑ノ 四通リ ガアル。……

〔遍〕○(ブランコ)……二十ペンコイダラ、ハルエサント カハリ

マス。今 十七ヘンメデス。アト ナンベン コゲマスカ。

この他、日曜日の回数、相撲の組合わせの回数、を数える。

〔鉢〕○朝顔ノタネガ 二十五 アリマス。一ハチ ニ 三ツツマ

クト、イクハチニマクコトガデキルデセウ。

この他、桃と梨とを盛り合わせた鉢を「幾鉢」と数える。

〔隻〕○……コレダケノ米ヲ運ブニハ、五千噸ノ貨物船ガ 何隻 イ

ルカ。五千噸 ノ貨物船一隻ニハ 約五万石 ノ米ガ積メルト

シテ計算セヨ。

〔頁〕○……お話ノ 本ハ、四十八ページ アリマス。……

本、お話の本、のページ数をいう。

〔頭〕↓〔匹〕

○昭和 十四年 二内地 デ免ヲ飼ツタ家ノ数ハ 約50万デ、

飼ツタ兎ノ数ハ 約50万 デアツタ。一戸 平均 何頭ノ兎

ヲ飼ツタトミレバヨイカ。

兎、牛、馬、を数える。

〔ツ〕○ シラホガ 九ツ シツカニ ウカンデ キマス。……

栗、(豆撒きの) 豆、どん栗、朝顔の種、南瓜の種、苺、柿、蜜柑、夏蜜柑、林檎、梨、瓢箪、芋、餅、団子、オムスビ、お煎餅、饅頭、菓子、焼きふ、卵、罐詰、(豆細工の) ヒゴ・豆、オハジキ、貝殻、定木、滑車、円板、(厚紙の) 穴、墨汁、ゴムハカリ、重り、五銭のお金、十銭のお金、半紙、袋、凧、日の丸の旗、御雛様、石、雪の玉、ピン、ガラスビン、コップ、皿、茶碗、土瓶、桶、盆、器、イレモノ、箱、重箱、弁当、(蜜柑の) 箱、(トマトの) 小箱、(卵の) 箱、(鰻の) 籠、(兎の) 箱、(金魚の) 鉢、荷物、鳥小屋、部屋、腰掛け、鳥居、狛犬、岩、大砲、爆弾、白帆(の舟)、鼠、花壇、水仙の花、梅の花、大洋、図形、図、絵、角、六角、辺、一辺の長さ、対角線、円錐、(直方体の) 頂点、稜、字、(甲乙の) 量、(鞠つきの回数)、等を数える。

(八) 国定教科書時代・第六期(昭和・終戦後)

㊸ さんすう 一・二 (第十四巻、二二七〜二七六頁)

算数 三 (同、二七七〜三〇九頁)

算数 第四学年用―第六学年用 (同、三二〇〜四三九頁)

「さんすう」には、挿絵が多く、第四学年からの「算数」には、計算問題が多くなる。「さんすう」にのみ見られる助数詞は、「切、帖、白、点」であり、「算数」(前者)にのみ見られるそれは、「株、粒」、「算数」(後者)にのみ見られるそれは、「件、個、冊、台、尋、戸、所、桁、棟

樽、畝、通」である。しかし、高学年になるほどメートル法以下の単位が用いられ、助数詞の使用は少なくなるようである。

教科書の表記は、以後、片仮名書きから平仮名書きとなる。また、歴史的仮名遣いは、「デフ(帖) ↓じょう」「クワン(罐) ↓かん」「アヂ(鱈) ↓あじ」「イテフ↓いちょう」「アルデセウ↓あるでしやう」と現代仮名遣いに変わり、「台」のような新字体も見えてくる。

〔人〕○ ……きやう四十二人 しゅっせきして、……

〔件〕○ 一年間の出火件数55本を月平均にすると、何件となるか。／

損害額1,5048,702円を、出火一件あたりに平均すると……

〔俵〕○ 炭だらを 四ひょうずつ つけた馬が 五ひき、……

米、玄米、供出米、米俵、炭俵、木俵、(芋の) かます、を数える。

〔個〕○ まゆの重さをはかってみたら、100個について、220gであった。反物一反を作るのに必要なまゆの数を計算せよ。

繭、罐詰、消しゴム、を数えるが、「色紙(12組)、ちようちん(5)、魚(7匹)、とうふ(7)、こんにやく(2枚)、こんぶ(1束)」「鉛筆

(48本)、消しゴム(25個)、すみ(13ちよう)、帳面(76冊)、画帳(18冊)、半紙(37じよう)、コンパス(7本)」と表示した学用品の点数を

「個数」と総称している(三三三頁)。

〔倍〕○ まるのまわりは、さしわたしの 三ばいほどです。

○ 勇「六年の畑は、四年の畑の一倍半だから、……

〔冊〕○ 明日は 帳面の配給があります。一人に 二冊ずつで、……帳面、画帳、を数える。

〔切〕○ りんご……どれも 四つずつに みると、いくきれできますか。それを 一人に 二きれずつ わけると、何人に ……

〔列〕○ 講堂にいすを並べます。一列に三十六ずつ 二十四列に並べるのだ。そうです。一人が 一回に二つずつ 運ぶことに……

○ (稲の株) ……三十れつを 計算しました。……

子供、生徒、いす、額、碁石、稲、じゃがいも、小豆、瓦を数える。

〔匹〕○ しげるさんは ばった を 六びき、……とりました。……

この他、馬、鼠、青虫、蛭、蟻、(釣りの) 餌、鯉、鯖、鱈、はぜ、鮒、魚、を数える。

〔班〕○ 正君の組は、十一班に分かれています。……  
クラス、生徒の班編成に用いられる。

〔台〕↓〔臺〕

〔回〕○ ……八回温度をはかって、右のような図をかきました。

○ 茂君は 小さな網の幅を はかりました。三尋と あとあまりがあったので、その分は 指を開いた幅で はかりました。指を開いた幅は だいたい 十三センチで、八回ありました。

他の助数詞に比し、よく用いられている。右の他には、稲、南瓜、風呂の水、いす、鯖の樽、杉の丸太、木の株、を運ぶ回数、紙の折りの回数、紙テープをねじる回数、練習や寄せ算の稽古の回数、米を食べる回数、風呂をたてる回数、循環バスの回数、電車の発車回数、車や自転車の輪や双六の回数を数えるなどの用例がある。

〔尋〕○ むこうの方に 大きな網が ほしてあります。近くにいた おじさんに きいたら、百二十尋ひゃくにじゅうもあって、一尋は 一メートル八十センチだそうです。

右「回」の条、参照。

〔帖〕○ 半紙 一じょうは 二十枚です。半紙 二じょうを 五人で

わけると、一人 何枚ずつに なりますか。八人で……

〔戸〕○ ある村の戸数は80戸で、そのうち、……

〔所〕○ ある工場に、工員専用の畑が二箇所ある。……

〔把〕○ まきが にばしゃで とどきました。八十七わ あります。まき、(稲の) 苗、稲たば、を数える。

〔挺〕○ (品物) すみ / (単価) 500 (円) / (個数) 13 ちよう  
学用品の墨をいう。

〔本〕○ 秋子さんが、チューリップを、二十四本 もっています。鉛筆、紙テープ、棒、ひご、線香花火、コンパス、(紐)、稲、苗、芋

苗、たんぼぼ、土筆、筍、胡瓜、水仙の花、桜の木、銀杏の木、木の丸太、電柱、柱、まき、甘酒の瓶、(油の) 瓶、(綿菓子わたあめの絵)、うず巻き(の線)、(碁盤の) 線、(積み木の) 稜、などを数える。

〔束〕○ おかあさんは あちらのいねかけから 一かいに七たばずつ はこんで、四十五かいで すんだそうです。

稲、昆布、まき、はがき、の束を数える。

〔杯〕○ おちぼを ひろっています。しげるさんは バケツに 四は い、いもうとは 三ばい ひろいました。ふたりで……

○ ひと月も まえに、ふなでした まぐるぶねが……おととい 十五は い、きのう 8 は い、きよう 十ばい かえって きました。きようまで なんばい かえってきたでしょう。

桶の水、やかんの水、風呂の水、水筒の水、お茶、甘酒、かますの粉、などをバケツ、ひしゃく、茶碗、水筒のふた、大きい椀、等の容器で数える。但し、一例、船を数えた例がある(漢字表記未詳)。

〔枚〕○ ……せいせきを みに いきました。そこには、えが 7ま

いと、じを かいいたのが 6まい、はって ありました。……  
 ○ ……おかあさんとねえさんが、一枚の田を植えられることに  
 なっている。その田はおかあさん一人では六時間、……

絵、図、紙、画用紙、半紙、千代紙、色紙、色板、台紙、厚紙、(紙  
 風船の用紙)、かるた、カード、五銭切手、切手、年賀状、はがき、絵  
 はがき、新聞紙、(張り出された)成績、銀杏の葉、竹の皮、蕨、額、  
 ガラス、瓦、煉瓦、こんにゃく、田、を数える。

[株] ○ ……四かぶで一メートルでした。田の横は、あぜにそって一  
 れつにいねが三十六かぶありました。……

○ ……じゃがいもを……一れつに二十四かぶずつ、六れつうえ  
 るように、畑が作ってあります。

[桁] ○ ある数を10で割ると、小数点は、一けた左へうつります。……  
 ・100で割ると 三けた、左へうつります。

[棟] ○ ある工場に、工員宿舍が二むねあって、……

[樽] ○ さばは、一たるに 何びきはいっているのだろう。

[歩] ○ あき子さんは、五十メートルを 八十歩で あるきます……  
 ○ 秋子さんは、一分間に 約百二十歩の割合で歩く。……

[段] ○ 柱を横に十二本並べて四段に積んだのが、二箇所にある。  
 串柿、蜜柑、積み木、柱、煉瓦、の並べ方や積み方を数える。

[畝] ○ ……うね幅を80cmとします。いくうね できますか。……  
 一うねに 何本ずつ植えればよいでしょう。

[疊] ○ 八じょうの へやが 三つと、六じょうの へやが 四つ  
 あります。たたみは 何じょう あるでしょう。

[箇] ○ フラスコ二箇に、それぞれお湯を1ー(ℓ)入れ、……

蜜柑、勝ち栗、基石、フラスコ、積み木、立方体、荷物、(買い物し  
 た、帳面、鉛筆、消しゴム)、を数える。また、「一箇月」「一箇年分」  
 「二箇所」としての用法がある。

[箱] ○ ……みかんを 箱から ……七箱 出しました。……  
 蜜柑、卵、石けん、の箱入りを数える。

[粒] ○ ……どれくらいとれるかを計算して、一粒のもみから、たく  
 さんのお米がとれるのにおどろきました。

[組] ○ おりかえしきょうそうでは、四組にわかれます。……  
 ○ きゅうすと茶わんの一組が十五円六十銭、……

色紙、知恵の輪、野球(の人数)、(四辺形の)辺、(直方体の)稜、  
 など、グループになったもの、セットになったものを数える。

[羽] ○ にわとりが、二十七わいます。三つのとりごやに、……  
 鶏、ひよこ、十姉妹、鳥、を数える。

[臺] ○ 炭だわらが …… 五だいのくるまに わけてつむと、一だ  
 いに 何びょうずつに なるでしょう。

○ 杉の丸太を、七台の車で 一台に 45本ずつ運ぶと……  
 自転車、自動車、馬車、牛車、車、を数える。

[日] ○ きょうは もちつきです。……もう、六うす つけました。  
 あと 七うすでおわる そうです。みんなで いくうす……

[足] ○ たけのかわを 五まい つかうと、ぞうりが 一そく でき  
 ます。ぞうりを 八そく つくるのに、たけのかわは どれだ  
 け いるでしょう。

○ この部落へ、まとめて18足の地下たびが配給された。……  
 草履、下駄、地下足袋、を数える。

〔軒〕○ 甲、乙、丙三軒の農家で、昨年とれた米の俵数の割合は……  
家、生徒の家、隣組、農家、の家数をいう。

〔通〕○ ……矩形であるものの面積の求め方として、次のページにある二とおりの方があった。……

〔遍〕○ 1ぺん はこぶと 8つ/2へん はこぶと 16/3ぺん  
はこぶと 24/というように かんがえました。

四十脚のいすの運び方を考えるもの。相撲の取り組みにも用いる。

〔頁〕○ 私は、おとぎ話の本を 四十八ページ読みました。……  
本のページ数を数える。

〔點〕○ 一ばんを 五てん、二ばんを 三てん、三ばんを 一てんと  
して、てんすうを くらべましょう。

〔つ〕○ かぼちゃが かごに 五つ はいっています。……

かぼちゃ、芋、梨、蜜柑、林檎、柿、干し柿、串柿、きのこ、水仙の  
花、(梅の)花、(梅の)蕾、木の株、おむすび、団子、餅、(自転車)の

輪、村、部落、公会堂、部屋、鳥小屋、長いす、火鉢、花瓶、水筒、  
(どん栗の)コマ、さいころ、おはじき、貝殻、石、茶碗、石鹼の箱、

(卵の)箱、重箱、袋、練炭の束、かます、(花、木の葉、犬の顔、梟、  
猫、蝶々、の絵)、(紙や紐の折り)、(紙の)包み、脈拍、班、区画、字

数字、数、(寄せ算の数)、量、グラフ、図、図形、角、面、対角線、頂  
点、(四辺形の)辺、三角形、六角、矩形、円、直円柱、関係、場合、

変化、方法、その他を数える。  
以上、本書における助数詞である。「一ゆれする」「一しきりずつ」

「一廻りに」「一まわりする」「何複歩」「何回転」等は除外する。

③⑥ 小学生のさんすう 第四学年用 1・2・3

(文部省著作教科書) (第十四巻、四四三〜五二二頁)

〔人〕○ まりこさんのはんでは、3人ぶん集まりました。……

○ ……ぶらくのよりあいで、近所の方が27人集まります。……  
〔俄〕○ すみのきょうしゅつで、38ひょう運び出しました。……

〔個〕○ 夏みかんは、10こで23円になります。30こでは、その3ばい  
になるわけですから、69円になります。

林檎、梨、無花果、枇杷、栗、卵、消しゴム、にも「こ」を用いる。  
なお、「9か所」「1か所」として見える例がある。この「か」の漢字

表記は、本書の場合、はっきりしない。

〔倍〕○ ……組のにんずうは、ふたりのなんばいといえるでしょう。  
「個」の条、参照。

〔冊〕○ 本を15さつならべて、おきゃくさまをまっています。……

ノート、本、を数える。  
〔列〕○ こうどうで、お話の会があるそうです。こうどうには、ひと  
りがけのいすが25ずつ20列ならべてあります。……

生徒、碁石、いす、体操の列、をいう。  
〔班〕○ 6ばんにわかれて、どのはんも、同じにんずうにしたい……

○ 道のそうじを、7はんにわかれてするのでそうです。……  
〔匹〕○ ……さかなをかいにいきました。1ぴきが15円です。4ひき

かいました。いくらほらえばよいでしょう。  
魚、はや、たなご、鮎、を数える。

〔回〕○ 3を9かいくわえることを、かんたんに書きなさい。……  
○ ……みのもくくんは、100ぼを、5かいても歩いてはかりました……

用例は多い。この他、野球の試合や夜回りの回数、進んだ道のりの記

録、まき、いす、栗の皿を運ぶ回数、体温を計る回数、ノートに書いてある回数、また、掛け算などに用いる。

〔山〕○ みかんも、1はこいくらでいいれます。……これを、山ずみにしたら45できました。1山35円でうると、このもうけはいくらになるでしょう。

〔帖〕○ 紙一帖は二十四枚なり千九百八十五枚は何帖に当るか / 答 日八十二帖十七枚

〔所〕○ 学校のおおそうじです。……先生が、場所をおきめになったら、9か所になりました。1か所なんん人ずつになるでしょう。

〔把〕○ ……のき下にかれたまきが、27わつんであります。一日におよそ3ばずつつかうと、なん日つかえるでしょう。

〔本〕○ ……だいいこんをかいいきました。1本が12円です。3本かいました。いくらはらえばよいでしょう。100円さつで……

鉛筆、コンパス、串、串の棒、竹、大根、(植えてある) 茄子、芋苗、(稲の) 苗、じゃがいもをうえるうね、指、を数える。

〔束〕○ ちよ紙は12たばあります。

○ 色紙は、7たばで24円50銭でした。1たばいくらに……

〔杯〕○ ……18デシリットルいりのびんで、5はいはいるたるがあります。このたるは、なんリットルいりでしょう。

○ しげるくんたち4人で、学校の足あらい場の水をかえています。ひとり、バケツで、25はいずつくみ出せば終るそうです。この足あらい場には、バケツでなんばいはいるでしょう。

〔枚〕○ 私は、紙ぶくろをはるおてつだいをしました。おかあさんひとりで、毎日、100まいのたばが、五つずつできたそうです。

切手、紙、半紙、画用紙、厚紙、千代紙、写真、紙袋、10銭札、50銭札、1円札、5円札、10円札、100円札、皿、を数える。

〔株〕○ ……そのなかへ、一かぶごとにもをいれてはかりました。さつまいも一株ごとを籠に入れて計量し、比較したとある。この他、稲(の苗)を「株」で数える。

〔歩〕○ ……あみのへりにそって、歩いてみました。よこが4ば、たてが9ほありました。ただしくんの1ばは、やく65cmです。……

○ ふつうに100ば歩いて、すすんだ道のりをはかり、1ばのほはばをきめる。

〔段〕○ ……たなが4だんある本ばがあります。……

○ 一月の七曜ひょうは、日を書きこむところが、なんだんあつたらよいでしょう。

〔畝〕○ きょうは、じゃがいものうえつけです。じゃがいもをうえるうねが、8本できました。……1うねに、いくつうわったでしょう。

〔皿〕○ ……さらを6まいお出しになりました。くりが54こあります。……一さらに、いくつずつのせたらよいでしょう。

〔箱〕○ おとうさんが、みかんを1はこかっておいでになりました。87こはいっていました。

林檎、クレオン、絵の具、の箱を数える。

〔粒〕○ 8本うえ、9本うえでは、1つぶのたねもみから、それぞれ、いくつぶのみができたといえるでしょう。

〔級〕○ 一きゅうは、どれだけおよげればよいでしょう。二きゅう、三きゅう、四きゅうは、それぞれ、どれだけおよげればよいで

しょう。

〔組〕○ すすむくんの学校の四年生は、3組あります。1組は、48人  
ずつです。みんなで、なん人もいるでしょう。

○ ……写真のだけは、3まい一組で100円です。…

〔足〕○ ……ひでみさんに、138円のげたを1そくと、妹に、98円の  
げたを1そくおかいになりました。…

〔軒〕○ ……これを、近所の家9けんにあげるのだそうです。

〔つ〕○ ……おやつに、おだんごを作りました。ひとり四つ  
ずつにすると、いくつ持っていけばよいでしょう。

団子、種粉、芋、チョコレート、(袋の) 束、火鉢、いす、店(生徒  
の) 組、班、道のり、方位、意見、仕方、ことがら、グラフ、問題、  
(数字)、角、などを数える。

―以上―

〔付記〕 算数教科書の、明治前期(本誌、一九九四年三月掲載)か  
ら昭和・終戦後(同、一九九九年三月掲載)までの検討の総括は、別途  
に行う所存である。

―一九九九年二月一日記―